

カキ生育情報

第 2 報
千葉県農林水産部
令和元年 6 月号

本年の開花期は平年並みです。生理落果が終了したら直ちに摘果を開始し、目標の着果数に調整しましょう。梅雨期は病害虫防除も重要な時期となりますので、適切な実施を心がけましょう。

1 令和元年5月の気象

令和元年5月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は、第1～第3半旬はほぼ平年並み、第4～6半旬は平年よりやや高めに推移した。月平均気温は18.4℃で、平年より0.7℃高く、前年より0.3℃低かった。

降水量は、第2、第4半旬はほとんど降雨がなく、第3半旬は平年より少なく、第6半旬はほぼ平年並み、第1、第5半旬は平年より多かった。月合計は158mmで、平年の91%、前年の69%であった。

日照時間は、第1、第3半旬は平年並みで、他は平年より多かった。月合計は235時間で、平年の133%、前年の116%であった。

表1 令和元年5月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	16.8	16.6	19.0	40	22	21	34	30	42
2	16.9	17.3	14.9	2	26	110	40	28	18
3	17.4	17.5	18.7	19	38	35	24	27	49
4	18.7	17.8	19.9	0	25	0	42	28	41
5	19.9	18.4	18.8	69	32	36	51	29	37
6	21.1	18.8	20.6	28	31	28	44	35	16
平均/計	18.4	17.7	18.7	158	174	229	235	177	203

2 樹の生育

開花期を表2に示した。暖地園芸研究所の開花盛期は、「西村早生」が5月16日、「松本早生富有」が5月21日、「富有」が5月22日であった。平年に比べていずれも1日早く、前年に比べて「西村早生」が13日、「松本早生富有」が14日、「富有」が11日遅かった。開花期間は「西村早生」が8日間で平年より1日短く、「松本早生富有」が8日間で平年と同じ、「富有」が6日間で平年より2日短かった。

いすみ市の「西村早生」の開花盛期は5月18日で平年より1日早く、前年より14日遅かった。市原市の「松本早生富有」の開花盛期は5月19日で平年より1日早く、前年より14日遅かった。開花期間はいすみ市が7日間で平年より2日短く、市原市が9日間で平年より3日短かった。

以上のように、本年の開花盛期はほぼ平年並みで、開花期間は平年並み～やや短かった。着花量は暖地園研では「西村早生」は平年より少なく、「松本早生富有」及び「富有」

は平年並みであった。いすみ市の「西村早生」、市原市の「松本早生富有」はいずれも平年より少なかった。暖地園研ではいずれの品種も晩霜害等はなく、生育は順調である。

表2 カキの開花期（月、日）

品 種	調査地	開花始期			開花盛期			開花終期		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
西村早生	いすみ市	5.15	5.14	4.29	5.18	5.19	5.4	5.22	5.23	5.8
	暖地園研	5.13	5.13	5.1	5.16	5.17	5.3	5.21	5.22	5.7
松本早生富有	市原市	5.15	5.15	4.28	5.19	5.20	5.5	5.24	5.27	5.10
	暖地園研	5.17	5.18	5.2	5.21	5.22	5.7	5.25	5.26	5.12
富 有	暖地園研	5.19	5.19	5.5	5.22	5.23	5.11	5.25	5.27	5.16

平年：暖地園研は1990年～2018年、いすみ市は1998年～2018年、市原市は1999年～2018年の平均値

3 6～7月の作業

1) 摘 果

摘果作業は果実肥大を良好にし、花芽分化を促進して隔年結果を防止するので、早めに行いたい。本年の開花期はほぼ平年並みなので、摘果の時期は生理落果が終了する6月下旬頃から7月上旬頃までになると見込まれるが、生理落果の状況をよく観察して実施する。

着果量の目安は、1果当たり葉数を20～25枚程度とし、葉が5枚以下の結果枝には着果させない。目標とする着果数は、10a当たりで「西村早生」が12,000果、「松本早生富有」が11,000果、「富有」が12,000果程度とする。また、摘果と同時に予備枝に使わない不定芽を摘除し、通風を良好にして病虫害の発生を予防する。ただし、着果量が少ない園では、健全な果実でなくともできるだけ果実を着けておき、枝管理も必要最小限にとどめ、樹勢バランスを保つようにしたい。

不完全甘ガキの「西村早生」では、種子数が少ないと渋果になる。そのため、果頂部が凹んでいる果実は必ず摘果し、腰高の果実を残すようにする。なお、8月中旬頃と収穫前の9月にも渋果を樹上選果するので、7月の時点では目標着果数より2割程度多め(10a当たり14,000～15,000果)に果実を残しておく。

2) 病虫害防除

6月中旬から7月下旬まではうどんこ病、落葉病、炭疽病とカキノキマダラメイガやカキノヘタムシガなどが類の防除時期である。ただし、「西村早生」では、使用する薬剤によっては薬害が生じるので十分注意する。防除に際しては、千葉県農作物病虫害雑草防除指針を参考に行う。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>